

Application for Participation

Associated Schools Project (ASP) for Promoting International Education

地域とともにこれからの南稜を考える

Outline of the way the Project(s) will be implemented in the institution (please use extra sheets if necessary)

Description of the Project (プロジェクトの概説)

本校では、これまで地域とのつながりを大切にし、地域に根ざした教育活動を進めてきた。また、地域の方々の長年の願いであった学校施設の改善が行われ、学習環境が充実してきた。そこで、地域を知り、地域から学び、地域の人々とのつながりを深くするためだけでなく、地域のために自分たちがどのようなことができるのかを考えるために、「地域とともにこれからの南稜を考える」というテーマを設定した。そしてその学習を通して「人間性豊かな南稜中生」の育成をめざす。

E S Dを推進するにあたって、新たな取り組みを行うのではなく、現在行っている教育活動の中でよりそのテーマに迫れる内容を精選し実践することで、持続可能な発展のための教育(E S D)につながると考えている。

Objectives of the Project (プロジェクトの目的)

本校では、E S Dを自分たちの学校を中心とした地域の学習が、地域の方々とのつながりを深めることで持続可能な社会づくりの担い手を育む教育につながると捉え、さらにその資質や能力の基礎的な部分を育てることになると考える。

そのために本校では3つの活動で、次の目標を掲げている。

(1) 地域学習に関する活動

南稜中校区はもちろん、近隣の地域にも目を向け、この地域の歴史や産業を知り、現在の生活につながっていることや地域と自分とのつながりを意識しながら、社会に参画していこうとする態度を養う。

- ・南稜中校区の農業とTPPについて学習 (2年生社会科)
- ・ゲストティーチャーを招聘したペットボトルデザインの作成 (2年生美術科)

(2) エコキャップ(ペットボトルキャップ)回収とアルミ缶回収活動

地域の環境美化や資源のリサイクル意識の向上はもちろん、ペットボトルキャップ回収活動では発展途上の子供たちの支援のためにがんばることを意識できるようにする。

- ・生徒会執行部及び委員会が中心となって行う「エコキャップ回収活動」
- ・特別支援学級が行う「アルミ缶回収活動」

(3) 行事等を関連づけた活動

保護者だけでなく、多くの行事で地域の方々を招き、地域が一体となって育ち続ける生徒の姿を通して、地域の誇りと愛着を育むことができるようにする。

- ・体育大会、文化祭、合唱コンクール、授業参観など

Execution (プロジェクトの実施)

(e.g. through a specially designed course, through an existing course(s) or as an extracurricular activity)

本校では、E S Dの目的を「暮らす」の観点から、自分たちが住む町の文化や人とのつながりについての学習を深め、それが持続可能な社会づくりの担い手を育む教育であると捉え、その資質や能力の基礎的な部分を育てることになると考えている。

南稜地域は、古くから梅田川沿岸として農地が広がり、農業が盛んな地域である。両親だけでなく、祖父母、親戚が農業に携わっている家庭の割合は7割以上である。また、大崎地区には、豊橋港沿岸の工業地域もあり、そこで働く人たちの住宅地として発展している地域もある。このように、古くからの伝統を重んじる風習と、新しくこの地域に住むことになった方の思いが融合し、よりよい地域へと発展していく環境の中で、生徒たちは自分の住んでいる南稜地域について知り、自分の思いをもって南稜地域を語り、南稜地域を好きになることができるようになれば、社会を理解し、協調して共に生きようとする生徒が育つと考えた。

そこで、目標を達成するために、教科の中で実践できる内容や総合的な学習の時間、生徒会活動や委員会活動などで、地域学習と行事とを関連づけて活動を進めていく。

○活動を進めるためのE S Dカレンダー (平成27年度2年生の例)

教科領域	4	5	6	7	9	10	11	12	1	2	3
社会	★豊橋(南稜)の農業や酪農を考えよう										
美術科	★地場産業で働く人からデザインを学ぼう										
総合	★地域の産業を知ろう(職場体験学習)										
行事	★地域の人を文化祭に招こう										
生徒会 委員会 その他	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティアによるあいさつ運動 ・常時活動としてのエコキャップ運動 ・常時活動としてのアルミ缶回収 										

(1) 地域学習に関する活動

2年生社会科の地理分野「日本の諸地域」において、豊橋の中でも最も盛んなこの地域の農業を題材とし、地域の基幹産業である農業の有り方を追究し、地域の一員としてどう地域社会と関わっていけばよいか考える。その中には、TPPへの参加など、社会的条件の変化も産業に大きく関わっていること、またそのことが自身の生活にも関わっていることに気づき、地域的特色を多面的・多角的に考えることができるようにしている。

また、2年美術科のデザイン作成の単元では、地元企業の中央生乳で活躍するプロのデザイナーを講師として招聘しデザインに必要なことを学んだ。



オリジナルデザインの作成(2年美術科)



講師・大羽氏による授業風景(2年美術科)

(2) エコキャップ（ペットボトルキャップ）回収とアルミ缶回収活動

常時活動として美化委員会を中心としたエコキャップ回収を行い、リサイクル意識の向上を図るとともに、集めたエコキャップが発展途上国の子どもたちのためにどのように役立っているのかを全校集会などで知らせている。

アルミ缶回収ボックスを学校に設置し、特別支援学級の生活の時間において回収を行い、地域の環境美化や資源のリサイクル意識につながる活動を行っている。



美化委員会「エコキャップ回収」



特別支援学級「アルミ缶回収」

(3) 行事等を関連づけた活動

生徒会執行部やボランティアによるあいさつ運動（社明運動を兼ねる）や地域の方々を招いての行事（体育祭・文化祭・合唱コンクール）、学校公開日（できる限り月1回実施）、授業参観を行うことで、地域との関わりや地域の方々とのつながりを重視していく姿勢を養い、地域への誇りや愛着心を育てている。



文化祭「地域の方を招いた学級企画」



生徒会「地域の方とのあいさつ運動」

Type of materials to be used（使用する教材）

活動が主なので、使用する教材は特にない。

Is there any type of evaluation to examine the effects of the project on students' comprehension and attitudes?（プロジェクトに対する生徒の理解と姿勢の評価方法）

生徒の理解と姿勢の評価は、以下のように行う。

- 生徒のさまざまな活動への取り組みの成果を事後のまとめや感想、発表から把握する。
- 学習や活動のまとめとしての授業参観や行事等での成果の発表の様子から、意欲や態度を観察し、評価する。

上記の評価とともに、さらに次のことを実施して、ESD活動のさらなる充実を図る。

- 毎行事後の「ふりかえり」や12月に「学校評価アンケート」を実施するとともに、学校評議員を通じた地域からの評価などから、今年度の実践をもとにESDカレンダーの見直しを図り、地域学習に関する具体的な活動内容の改善を図る。

On behalf of my institution, I apply for participation in the UNESCO Associated Schools Project and give the assurance that this institution will make an active contribution to the Project, as outlined above, for a minimum period of two years. At the end of every year, I shall submit a report of the Project to the ASP National Co-ordinator of my country.

(本学校を代表して、ユネスコASPの参加申請をし、少なくとも2年間は上記概要にそってASPに貢献する活動を行うことを確約します。また、毎年ASPコーディネーター(※日本の場合は日本ユネスコ国内委員会)に活動のレポートを提出します。)

Date (日付)

Principal's name (校長名 (※直筆))

Position, (役職)

Institution's name (学校名)